関係都道府県及び政令市 水産関係公共土木施設等災害復旧事業担当課長 殿

> 水産庁 防災漁村課 水産施設災害対策室長

梅雨前線や低気圧に伴う大雨に対する備えと被害報告等について

平素、水産関係公共土木施設等災害復旧事業に関して特段のご理解、ご高配を賜り感謝申し上げます。

今年は、沖縄、奄美、九州南部・北部、四国、中国、近畿、東海の各地方で平年より早く (九州以東では平年より3週間早く)、既に梅雨入りし、低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水等による災害が懸念されるところです。

こうした中、昨日、気象庁から別添の通り発表がありました。

貴管下の<u>漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災上の適切な措置及び工事中の各施設につい</u>て必要な安全対策を講じていただくようお願いします。

災害関係の事務については、災害発生後迅速に対応する必要があることから、速やかに調査を実施する必要がありますが、**人命第一**の観点から、<u>暴風雨時においては状況が収まるまで見回りは行わない</u>で下さい。また、調査に当たっては、<u>危険な箇所は無理をせず、安全に十分な配慮</u>を行って下さい。

調査結果については、漁港関係公共土木施設災害復旧事業事務要領(漁港・海岸保全施設)、漁業用施設災害復旧事業事務取扱要領(漁業用施設)、農林水産業共同利用施設災害復旧事業事務取扱要綱(共同利用施設)により速やかに下記までご報告下さい。

なお、<u>土砂や流木等による漁港の航路・泊地の埋そくなど早急な対応</u>が求められる場合には、<u>水産庁</u> と協議の上、応急工事(査定前着工)を実施し、被害の拡大防止等に努めるようお願いします。

なお、このことについて貴管下市町村(政令市を除く。)に対しましても、ご周知いただきますようお願いします。

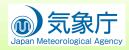
【災害報告連絡先】 水産庁 防災漁村課 水産施設災害対策室 小坂、柳瀬、佐渡、謝名堂、辻 Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325 E-mail:下記

yoshimi_kosaka390@maff.go.jp; tomoyuki_yanase060@maff.go.jp; takumi_sado610@maff.go.jp; shun_janado370@maff.go.jp; hiroshi_tsuji990@maff.go.jp

【応急工事連絡先】 水産庁 防災漁村課 水産施設災害対策室 佐藤、内山、小坂 Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325 E-mail:下記 akito_sato080@maff.go.jp; yuzo_uchiyama400@maff.go.jp; yoshimi_kosaka390@maff.go.jp

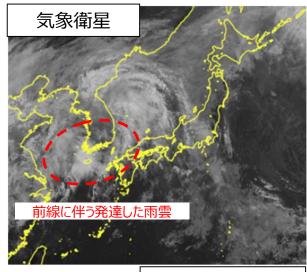
休日、夜間に**重大、重要な災害又は応急対応が必要な災害が発生した場合は**、水産施設災害対策室の携帯電話(080-8421-9435)または、下記の個人内線直通番号へご連絡下さい。

【個人内線直通】 <u>03-3502-8181</u>をダイヤル後、ガイダンスに従い下記()内の番号を入力。 小坂(86789)、柳瀬(84876)、佐藤(84891)

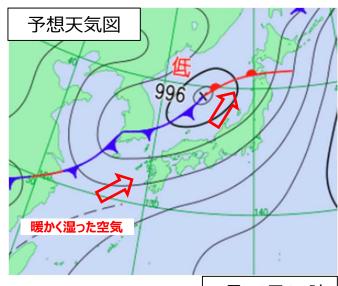


梅雨前線や低気圧に伴う大雨について(低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水に警戒・注意)

- <ポイント> 前線や低気圧の影響で、今出水期初めて北日本から西日本にかけて広く大雨となる。 前線に向かって暖かく湿った西寄りの風が入りやすい九州、低気圧の通過する北日本を中心に 雨量が多くなる見込み。九州ではこれまで降った雨で地盤の緩んでいる所がある。
- <概況>梅雨前線が華北から日本海にのびており、前線上の低気圧が朝鮮半島付近にあって東北東へ進んでいる。低気圧は発達しながら日本海を東北東へ進み、17日にかけて北日本を通過する見込み。
 - この低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が不安定となる所がある。
- <大雨><u>九州地方では降り始めからの雨量が200ミリを超えている所がある</u>。西日本から北日本では、17日にかけて雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。 梅雨前線はその後も本州付近に停滞する見込み。
- <警戒事項>低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水に警戒・注意。落雷や突風にも注意。



5月16日9時30分



5月16日21時

予想される24時間雨量(多い所)単位ミリ

	17日12時までの 24時間雨量	18日12時までの 24時間雨量
北海道地方	120ミリ	およそ50ミリ
東北地方	120ミリ	およそ50ミリ
北陸地方	100ミリ	およそ50ミリ
近畿地方	120ミリ	50~100ミリ
中国地方	120ミリ	およそ50ミリ
九州北部地方	200ミリ	およそ50ミリ
九州南部	180ミリ	100∼150ミリ

大雨の警報級となる可能性のある期間 (■可能性がある、■可能性が高い)

日日		16⊟			17日	18日	19日
時		12~18	18	~6	6~24	10口	190
北海道地方	大雨						
東北地方	大雨						
北陸地方	大雨						
近畿地方	大雨						
中国地方	大雨						
九州北部地方	大雨						
九州南部	大雨						

48時間降水量 現在の値(5mm以上のみ) 10時20分現在

順位	都道府県	市町村	地点	観測値
				mm
1	鹿児島県	薩摩郡さつま町	さつま柏原(サッマカシワバル)	208.5
2	熊本県	葦北郡芦北町	田浦(タノウラ)	201.0
3	鹿児島県	鹿屋市	吉ケ別府(ヨシガベップ)	199.0
4	宮崎県	都城市	都城(ミヤコノジョウ)	188.5
5	鹿児島県	霧島市	溝辺(ミゾベ)	181.5
//	熊本県	球磨郡球磨村	一勝地(イッショウチ)	181.5